

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名:群馬県東部県民局桐生土木事務所

事業の名称:みどり都市計画道路3・5・8号

大間々高津戸線街路事業

実施都市名:みどり市

事業目的

都市計画道路3・5・8号大間々高津戸線(一般県道駒形大間々線)は、桐生市街地と大間々市街地及び国道122号を繋ぐ幹線道路の役割を担っているが、既存道路は幅員狭小で道路線形も屈曲している。また渡良瀬川に架かる高津戸橋は架設後70年余りを経て老朽化が著しく、周辺が高津戸峡・ながめ公園等の観光地であるにもかかわらず歩道がなく、観光客等の安全を確保できていない。そのため、本事業により橋梁架替及び道路改良を行うこととなった。

事業概要

事業名称:地域活力基盤創造交付金事業(街路)等

路線名:みどり都市計画道路3・5・8号 大間々高津戸線
(一般県道 駒形大間々線)

事業箇所:みどり市大間々町大間々～高津戸地内

事業延長:L=740m

幅員:W=15.0～18.0m

幅員構成:車道3.0m×2～3, 路肩0.5×2, 歩道4.0m×2

橋梁:橋長L=87.0m, 幅員W=15.0～17.0m

鋼中路アーチ橋

事業費:約19億円

事業期間:平成10年～平成21年

事業内容:道路改良L=650.0m

橋梁新設・旧橋撤去 N=1橋

踏切拡幅 N=1箇所

供用開始:平成21年10月26日

事業位置図



群馬県
みどり市



事業位置図

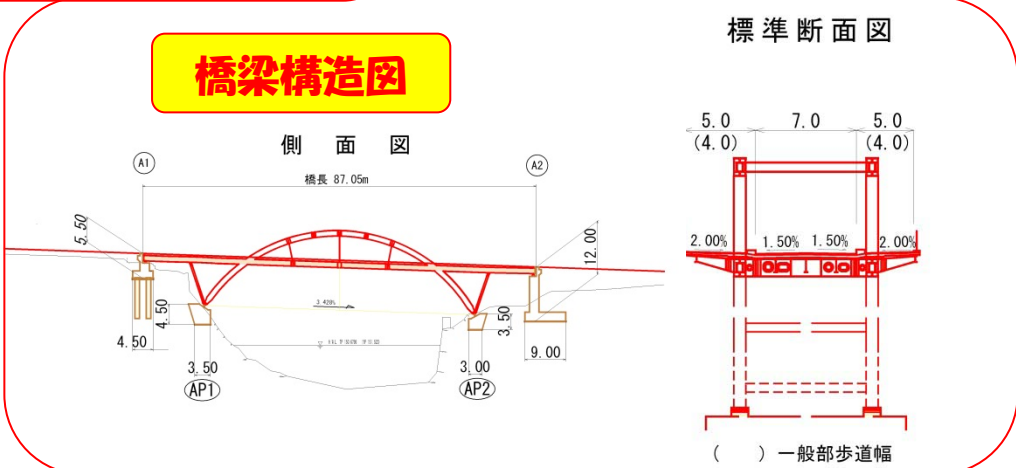
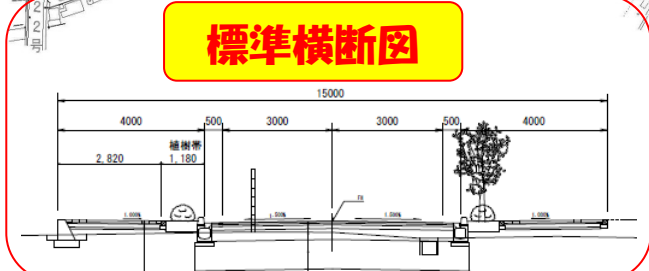
全体図(平面図・標準横断面図・橋梁構造図)

平面図

事業延長 L=740m



標準横断面図

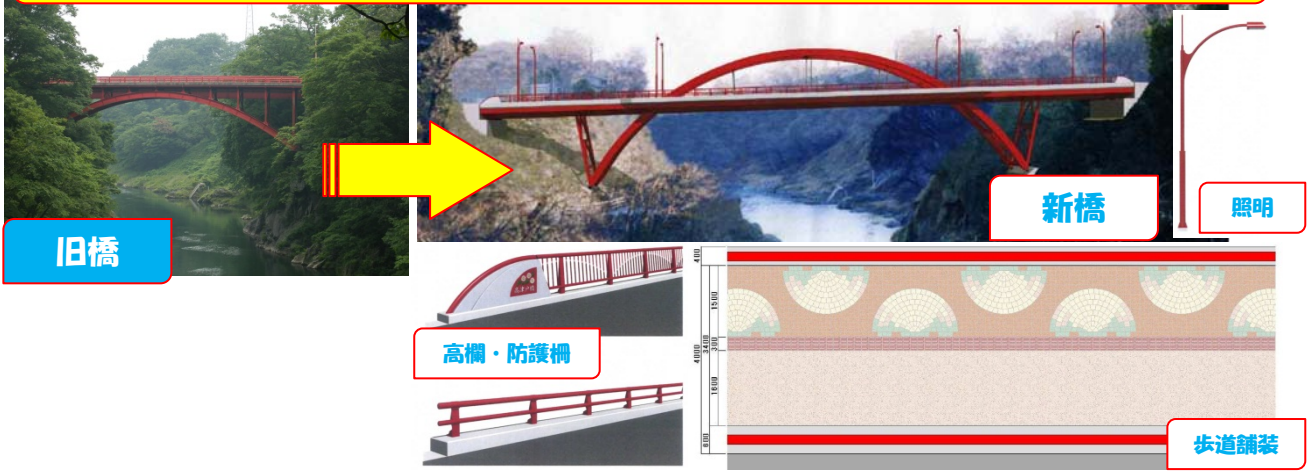


橋梁構造図

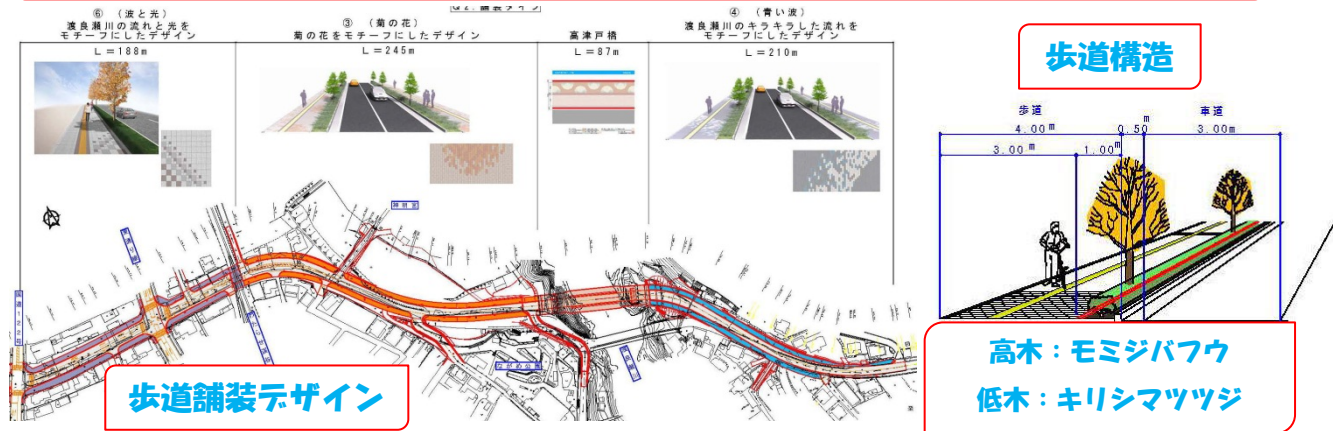
標準断面図

大間々高津戸線の整備効果アピール資料

歴史ある橋梁のデザイン：景観検討委員会により決定



観光地の歩道としての魅力造り：現場での選定会により決定



○事業概要

事業名：地域活力基盤創造交付金事業(街路)等
 路線名：みどり都市計画道路3・5・8号 大間々高津戸線
 事業箇所：みどり市大間々町大間々～高津戸地内
 事業延長：L=740m
 幅員：W=15.0～18.0m
 総事業費：約19億円
 事業期間：平成10年～平成21年
 供用開始：平成21年10月26日

「整備効果」

- ・選定会で地元住民・小学生等の意見を反映でき、愛着のある歩道を造ることができた。
- ・春は「ツツジ」の開花、秋は「モミジバフウとツツジ」の紅葉が観光地の新たな魅力となった。

「その他の事業効果」

- ・現場から発生する残土・廃材等の再利用(旧橋鋼材→ベンチ, 残土→公園駐車場の盛土材等)
- ・旧橋撤去工事における使用クレーン見直しによるコスト縮減

事業前写真

平成12年11月撮影



平成19年7月撮影



平成19年7月撮影



事業後写真

平成22年1月撮影



平成22年10月撮影



平成22年10月撮影

